

各 位

(仮称)追手門学院大学中央棟新築工事の設計監理業務を受注

株式会社三菱地所設計(本店:東京都千代田区丸の内3-2-3 社長:島田勝久)は、(仮称)追手門学院大学中央棟新築工事の設計監理業務を受注しましたので、お知らせします。

(仮称)追手門学院大学茨木校舎中央棟は、学校法人追手門学院(母体創立1888年)の創立120周年事業の中核事業として計画され、昨年12月、6社の設計コンペの結果、当社が選定されたものです。

当社設計の主な特徴は、大阪平野を見下ろす斜面地に立つキャンパス各棟からの眺望と既存のキャンパス導線を確保しながら、ボリュームのある中央棟を新築するとともに、中央棟まわりの既存の広場を拡大して、森を再生し、シンボリックで快適な空間を創出することにより、学生の記憶に残るキャンパスづくりを提案したものです。

また中央棟については、コストマネジメントと安全性の観点から、与条件内で効率的な面積配分を図り、用途ゾーニングを明確に分離して、大スパンの大教室を低層棟(鉄骨造)、小スパンの研究室を高層棟(RC造)に配置しております。さらに、環境負荷低減の観点から、自然エネルギーを用いた照明計画、用途に合わせた空調計画、将来の改修工事に柔軟に対応する設備計画等を提案しております。

当社では、多様化・高度化する発注者ニーズに柔軟・迅速に対応するため、本店・支店の連携により業務を推進する体制を構築しております。

■ (仮称)追手門学院大学茨木校舎中央棟新築工事 計画概要

発注者: 学校法人 追手門学院
建設地: 大阪府茨木市西安威2-1-15
構造・規模: 高層棟 RC造 地下1階・地上10階・棟屋1階
低層棟 鉄骨造 地下1階・地上1階
延床面積: 約10,000㎡
用途: 高層棟 研究室55室・学校事務室等
低層棟 大教室1室・中教室3室
設計監理: 株式会社三菱地所設計
施工: 未定
工事予定: 2005年4月～2006年11月

以 上